



第66回 磐梯まつり

7月26、27日に開かれた第66回磐梯まつり。今年も大勢の町民がまつりを楽しみ、盛り上げました。当日の様子を写真で紹介いたします。



Pick Up

今月のイベント

中央商店街の懐かしい写真や地図を展示

「商店街の歴史をたくさんの人に知ってほしい」と話す山内さん(左)と新明さん

町中央商店街に店を構えるスタジオやまうちの第44回企画展「よみがえる街パノラマ」は7月22日、同スタジオで始まりました。

スタジオ内には1992(平成4)年に撮影された同商店街のパノラマ写真と明治から平成までの時代ごとの街並み地図などを展示。訪れた人たちが昔の商店街などの様子を懐かしそうに見入っています。

パノラマ写真は同スタジオを経営する山内晴也さんが撮影。街並み地図は新明家具の新明哲也さんが制作しました。

「移転、閉店した店舗や震災で壊れた建物などもあり、撮影した頃と比べると街並みもだいぶ変わった」と山内さん。新明さんは「商店街の移り変わりや町にはいろいろな産業があったということを町民の皆さんに知ってほしい」と話します。

「歴史を振り返り、これからのことを考えてもらいたい」と話す両氏。「評判は上々。これからお盆を迎えるので、町を出た人たちにも帰省した際にぜひ立ち寄ってもらいたいですね」と期待を込めます。

企画展は8月22日まで開催。この機会に、懐かしいあの時代へ、タイムスリップしてみませんか。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Jun.2014
8
No.646

今月の表紙



会津磐梯山総おどりに向かう途中の山内伊織ちゃん(5歳=本町)と妹の朱里ちゃん(2歳)。大好きなおばあちゃんと一緒に踊るとあって、始まる前からウキウキ。ママがカメラを向けると、2人とも可愛いポーズを取っていました。

【撮影日】 7月27日
【撮影場所】 中央商店街

Contents — 【目次】

- 02 Pick up
- 03 写真特集 第66回磐梯まつり
- 06 まちのわだい
- 10 笑顔でこんにちは/ハイ、きらりさん/スクールトピックス
- 12 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー

火に託す二つの心

「祈り」と「感謝」



8



5



6



1



9



7



4



3



2



10

1_ 磐梯神社からお旅祭祭に向かう御神火行列 2_ 御神火行列の出発を待つ巫女と天狗。巫女と天狗は町内の中学生が務めた 3_ 読経と焼香で犠牲者の冥福を祈った噴火殉難者供養祭 4_ 約600人が参加し、磐梯まつりのフィナーレを飾った会津磐梯山総踊り 5_ 本町出身のシンガーソングライター、渡部ゆりあさん(右)。初めて立った地元のステージで、気持ちのこもった歌声を披露した。サプライズで母、富恵さん(左)に感謝の手紙を読んだ 6_ 山車とみこしの競演には、町内各地区の山車と中学生によるみこしが参加し、中央

商店街を練り歩いた 7_ 音楽パレードに特別参加した本町ゆかりの3選手が、子どもたち全員とメダル越しにハイタッチ。会場内は子どもたちの喜びの笑顔で溢れた 8_ 約360人が参加したたいまつ行列 9_ たいまつ行列と共にあまつり広場へと向かう稚児たち 10_ 演奏を披露する千里小の児童。パレードは降雨によりカメリーナでの開催となったものの、「すべての学校の演奏を聴けてよかった」「他の学校の演奏を聴いて刺激になった」などと保護者や参加した子どもたちから好評を博した

者から好評を博しました。パレードは降雨のためカメリーナでの開催となりましたが、子どもたち全員が3選手とハイタッチできたことに加え、1団体ずつ順番に演奏したことから、「子どもたちが一生懸命頑張る姿をじっくり見ることができた」などと参加者や来場者から好評を博しました。

今年で66回目を迎えた磐梯まつりは7月26、27の両日、旧役場跡地・おまつり広場をメイン会場に開かれました。猪苗代の夏の風物詩ともいえるこのまつりは、明治21年7月15日の磐梯山噴火で殉難した人々の追悼と供養を目的として始まったもので、五穀豊穣や町民の安寧を祈願する「火の祭り」として継承され、発展を遂げてきました。今年のまつりは、「火に託す二つの心『祈り』と『感謝』」をテーマに練り広げられました。